

アートイベントを 継続するために

アンケートをとってみよう

これからアートイベントをやってみようと考えている方、
すでにアートイベントを開催している方。
地域を元気にしたい、表現の場をつくりたいなど
アートイベントを開催する動機はさまざまだと思います。
そしてまずは「どのようなイベントにしたいか」という
具体的な内容から入ることが多いでしょう。
では、そのイベントを継続していきたい場合、
イベントの内容以外に何が必要となってくるのでしょうか。
「アートイベントを次回も続ける」という視点で、
アートイベントをもう少し大きな枠組みで考えてみませんか。



上図は一般的にPDCAサイクルと呼ばれるもので、物事を計画的に進めるときの手順を表しています。アートイベントを行う際、このサイクルを繰り返すことが、イベントを継続するうえで役立ちます。イベントを「企画」し「運営」することはもちろん大切ですが、やりっ放しにせず一度立ち止まって結果を振り返る「検証」を行い、次のイベントを「改善」していくことが継続するための第一歩となります。

* 検証とはなにか *

検証とは、自分たちのアートイベントが目的を達成するために適切な道筋を通ったかを確認する作業です。

* 検証をするその前に *

まずはイベント自体をなぜしたいのか、なぜ検証をすべきなのかということ協力を同士でよく話し合しましょう。そこをはっきりしておかないと、何をどう検証すればよいのかということが見えてきません。また、検証の必要性を共有しておかないと、検証を「やらされている」という感覚になってしまいます。

イベントを始める前に検証方法を考えておくことも重要です。イベント後に急ぎょ検証をしようと思っても、欲しい情報が集まらない可能性があります。

* 検証はなぜ必要か *

検証を行うことにより、自分たちが当初考えていた成果が生まれたのか、自分たちには何が不足していたのか、どうすべきだったのかという問題が見えてきます。問題としっかりと向き合い、それを一つずつ解決して改善していくことは、次回のイベントをよりよくしていくことにつながります。

継続するためには、企画・運営だけではなく、検証し問題を解決・改善していくことが重要になってくるのです。

* 検証はどうやってすればよいのか *

1つの方法として、まずは来場者アンケートを取ってみましょう。

自分たちで話し合うことも大事ですが、来場者の声を聞くことで、どのような観客が来ているのか、何を望んでいるのか、これから何が必要なのか、ということが見えてきます。

これはアートイベントの来場者アンケートの一般的な構成です。
このアンケートは、1つのアートイベントで複数のプログラムを開催することを想定しています。
あくまで一例ですので、ご自身の状況に合わせてご使用ください。

「〇〇アートプロジェクト」ご来場者アンケート

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
今後の参考にいたしますので、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 問 1** 性別 女性 / 男性
- 問 2** 年齢 10代以下 / 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代以上
- 問 3** お住まい 〇〇市 [開催地] / ××市 / その他大分県内 (市町村) /
□□県 / その他大分県外 (都道府県)
- 問 4** 〇〇アートプロジェクトは××××です。こうしたイベントをどう思いますか？
よい / どちらかといえばよい / 普通 / どちらかといえばよくない / よくない
- 問 5** 参加いただいたプログラムはいかがでしたか？
満足 / どちらかといえば満足 / 普通 / どちらかといえば不満 / 不満
- 問 6** 他に参加されたプログラムや、参加しようと思っているプログラムはありますか？
ない / 1つ / 2つ / 3つ / 4つ / 5つ以上
- 問 7** 今回の〇〇市の滞在時間はどのぐらいのご予定ですか？ 〇〇市にお住まいの方は、本日のイベントに
参加した時間 (予定も含む) をご記入下さい。
2時間未満 / 2~4時間 / 4~6時間 / 6~8時間 / 8時間以上 (日帰り)
ご宿泊 (泊)
- 問 8** 〇〇市にいらっしゃる頻度と、来訪する主な理由についてお聞かせください。
〇〇市に住んでいる / 月に1回以上 / 半年に1回以上 / 年に1回以上 /
ほとんど来ない / 初めて 主な来訪理由 ()
- 問 9** 今回のイベントに参加するほかに〇〇市を訪れた理由はありますか？【複数回答可】
〇〇美術館 / 〇〇文化会館 / 〇〇歴史文化施設 / まちなかの散策 /
食・グルメ / お土産物の購入 / 〇〇温泉 / その他 ()
- 問10** 今回のイベントを何でお知りになりましたか？
チラシ・パンフ / ポスター / 市報 / 新聞 / 雑誌 / テレビ / ラジオ /
ウェブサイト・SNS / 友人・知人 / 関係者 / 存在を知らずに偶然訪れた /
その他 ()
- 問11** このイベントは〇〇年から定期的で開催されています。過去にこのイベントにご来場いただいたことは
ありますか？
今回が初めて / 2回目 / 3回目 / 4回以上
- 問12** 〇〇アートプロジェクトは今後も継続して開催する予定です。あなたもプログラムを企画・開催する
側として参加したいと思いませんか？
はい / いいえ / わからない
- 問13** 「〇〇市は芸術文化の町である」というイメージをお持ちですか？
はい (いつから：〇〇年より前 / 〇〇~××年 / ××年より後) / いいえ
- 問14** 本日のイベントはいかがでしたか？よかったところや悪かったところ、今後さらに充実した方がよい
プログラムなど、ご意見・ご感想がございましたらお聞かせください。なお、下の記入欄で足りな
ければ、用紙の裏にも自由にご記入ください。

[]

ご協力ありがとうございます。今後、〇〇アートプロジェクトからのご案内を希望される場合は下記に
ご記入ください。ご記入いただきました個人情報、上記目的以外では使用せず、当方にて厳重に管理
いたします。

お名前: _____ Email: _____

問1
~3

回答者が答えやすいように、選択肢を設けています。

問4

イベント全体に対する印象をたずねます。全体像を知らない方のためにイベントの概要を簡単に書いておきます。

問5

参加したプログラムに対する満足度をたずねます。

問6

来場者が何カ所程度のプログラムに参加しているかを把握できます。来場者を延べ人数（例：1人の観客が3プログラム回れば3人とカウント）ではなく、実質の来場者数（例：1人の観客が3プログラム回っても1人とカウント）を推計することができます。たとえば延べ来場者数が900人と集計されたとき、この設問から得られた平均参加プログラム数が3であれば、実質の来場者数を300人（900人／3プログラム）と推計できます。

問7

地域を元気にしたり、観光客を呼ぶことを目的の1つにしているイベントでは、開催地にどれだけ滞在したかということは重要な項目になることがあります。大規模なイベントであれば「日帰り」か「宿泊」か、小規模であれば時間単位で選択肢を設けると回答しやすくなるでしょう。

問8

回答者が普段何を目的に、どの程度の頻度で開催地を訪れているのかをたずねます。
「イベントがあったので開催地を訪れた」という来場者がどれだけいるかがわかります。

問9

イベント開催場所以外に観光施設なども訪れているか、相乗効果が生まれているかをたずねます。

問10

次回イベント企画時にどの広報手段を重視すべきかが見えてきます。とはいえ、チラシの割合が高かったからといって、次回もさらに注力することが正しいとは限りません。逆に割合が低いところに伸びしろがあるので、そこに力をいれることも考えられます。

問11

イベントのリピーターかどうかを問います。リピーターの確保は重要ですが、たとえばリピーター率が100%という結果は来場者が固定し、新たな客層への働きかけが足りない可能性があります。

問12

一般市民がプログラムを主催する側で参加登録できる場合を想定しています。「ボランティアとして参加したいか」としても、よいかもしれません。

問13

長期にわたり継続的に実施されているイベントを想定した設問です。

問14

自由記入欄です。記入スペースが狭くなるので裏面にも記入するよう促しています。

連絡先

継続的な情報発信を行っていくうえで重要な情報源です。メールアドレス以外に住所などを書いてもらうこともできますが、答えてくれない来場者が多いと思われるので、あえて住所は聞かなくてもよいかもしれません。

Q&A



Q アンケートの分量は？

A4用紙1枚程度に収めるのがよいでしょう。
質問項目が多いと、回収率がさがります。
来場者には子どももいるので、なるべく難しい言葉を避けましょう。

Q 複数会場で行うので人出が足りずアンケートを取るのが大変

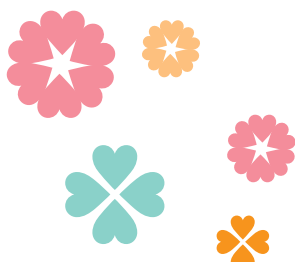
イベント全体の中心であるメイン会場で集中的に回収しましょう。
来場者が回答しやすいようにクリップボードと筆記用具を用意しておくのが親切です。
ワークショップなど参加者へのアンケート配布・回収を行いやすいプログラムについては、確実に回収できるようスタッフ間で徹底しましょう。

Q スタッフが常駐しない会場の来場者数はどう数えればよいのか

- ①数えない(メイン会場に来る人が大半と考えて、それ以外の会場の来場者数計測はしない)
 - ②会期のうち何日間かだけスタッフを実際に配置して、来場者数を計測し、その人数が平均的に毎日訪れたと仮定して試算します。
- しかしこの方法は、平日と休日、天候条件などをどのように加味するのか考える必要があります。

Q アンケートをとる以外にどのような検証方法があるの？

イベントを行う前の事前検証や、運営をしながらそれがうまくいっているかを検証するなどさまざまな方法があります。
詳しくは【アーツ・コンソーシアム大分】でワード検索をしてください。
ホームページ内には今回のアンケート様式も掲載しています。
ぜひご利用ください。
まずは無理をせず、できることから始めてみてください。




発行：アーツ・コンソーシアム大分

事務局：〒870-0029 大分市高砂町2番33号 iichiko総合文化センター内

(公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団

アーツラボラトリー室 (代表) 097-533-4011

助成：  平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業